

大崎、オムロンが首位堅持、ソニーは手痛い黒星 ～第32回日本ハンドボールリーグ第6週～

第32回日本ハンドボールリーグ第6週は埼玉などで男子4試合、女子3試合が行われ、男子は首位の大崎電気がトヨタ車体を退けて開幕6連勝、大同特殊鋼はトヨタ自動車に圧勝して1敗を守った。女子も三重バイオレットアイリスを破ったオムロンが5連勝で首位を堅持した一方、2位のソニーセミコンダクタ九州が広島メイプルレッズに完敗。女子は第1クールが終了、全勝のオムロンを2敗のソニー、北国銀行が追う展開となっている。

男子の大崎-車体戦。エース宮崎が体調を崩してベンチスタートとなった大崎だったが、いきなり野村、鶴谷の連打で車体に先制を許したものの、巧みなポジションチェンジから岩本、岩永のミドル、永島のポストなど6連取であっさりと逆転。その後も堅い守りからの速攻で得点を重ね、岩永、望月ら新鋭の活躍も光り23-18と5点リードで前半を折り返した。

後半開始4分、車体は野村、藤田らで3点差まで肉薄するが、7分過ぎに大崎は宮崎が登場、岩本、中川らの巧打をからめて再び流れを引き寄せると前田のダイナミックなシュートも炸裂、13分31-23と水をあけて好調ぶりをアピールした。その後はクイックスタートを多用する両チームともスピードとテンポがアップ。大崎が退場する間、流れが車体に傾きかけたが、大崎はDFシステムを変えるなど車体の追撃を許さず、40-34で全勝を守った。

大同-自動車戦は、富田のポストで先制した大同に対し、自動車もGK稲本の気迫のセーブで前半8分4-5と肉薄していたが、負けじとGK高木の好セーブから6点連取した大同が一気に加速。その後も全員がまんべんなく加点した大同は、後半から登場した李才佑が打ってよしパスしてよしで7得点をマークする活躍もあって39-21で圧勝した。

女子の三重-オムロン戦は、前半9分3点ビハインドの三重が、ポストの坂元を中心に攻めるオムロンに対し、タイムアウト後に厳しいDFで応戦、GK毛利の活躍もあって22分7-9と食い下がった。しかし、ここからオムロンは藤井の7mT、ロングなどで混戦を抜け出し、12-8で前半終了。後半に入り、パワープレーチャンスを生かせなかった三重は、速い攻めで活路を見出そうとしたが、この試合7得点の藤井を軸に、佐久川、吉田らで手堅く加点したオムロンが危なげなく試合を運び、31-15で快勝した。

ソニー-広島戦は前半7分3-3から、広島がポストへのパスを多用して長野をトップに据えたソニーの5-1DFをかく乱、土屋らの効果的な得点でペースを握ると、守っては相手を中へ切り込ませないしつこいDFを続け、22分15-9と7点リードを奪った。その後も広島は植垣のロング、伊藤のサイドなどで加点、前半21-12と9点差をつけて折り返した。後半5分、広島が2人退場してCP4人の時間帯があったが、ソニーはこのチャンスをものにできず、終盤亀山らの得点で4点差まで詰めるのがやっとな。最終的には32-29で広島が白星を握った。なお、この試合でソニー・飛田が7mT阻止通算100本を達成。7mT阻止数は第20回大会から集計しているもので、飛田の記録は11シーズン目での達成、阻止100本は男女を通じて初の快挙だった。

(2ページ目に続く)



新鋭岩永らの活躍で大崎が開幕6連勝を飾った

第7週の日程

- | | |
|--|---|
| <p>11月10日(土)・大阪・大阪市立住吉スポーツセンター(地下鉄御堂筋線あびこ駅徒歩7分)</p> <p>・広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)</p> <p>・佐賀・神埼中央公園体育館(JR長崎本線神埼駅徒歩5分)</p> <p>・沖縄・浦添市民体育館(バス(90番具志川行)琉球バス乗車「浅野浦」下車徒歩1分)</p> <p>11月11日(日)・大阪・大阪市立住吉スポーツセンター(地下鉄御堂筋線あびこ駅徒歩7分)</p> <p>・広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)</p> | <p>14:00～(女) 三重バイオレットアイリス × 北国銀行</p> <p>16:00～(女) H C 名古屋 × ソニーセミコンダクタ九州</p> <p>14:00～(女) 広島メイプルレッズ × オムロン</p> <p>16:00～(男) 湧永製薬 × 大同特殊鋼</p> <p>14:00～(男) トヨタ紡織九州 × 大崎電気</p> <p>13:00～(男) H o n d a × トヨタ車体</p> <p>13:00～(男) トヨタ自動車 × 北陸電力</p> <p>14:30～(女) ソニーセミコンダクタ九州 × 北国銀行</p> <p>16:00～(女) オムロン × H C 名古屋</p> <p>14:00～(女) 広島メイプルレッズ × 三重バイオレットアイリス</p> |
|--|---|

湧永、北国らが手堅く勝利

福井、三重、愛知で行われた残る3試合は、いずれも前半で決定的な点差が開く展開に。福井での北陸電力-湧永製薬戦は、トヨタ車体、豊田合成に連勝した北電のさらなる躍進に期待がなかったものの、地力に優る湧永の強固なDFに苦しみ、前半12分で1-7と北電が大きなビハインドを背負った。突破口を探った北電だったが、GK志水の好守も光った湧永の優位は不動。エース神田を無得点に封じられた北電は合計9得点に終わり連勝は2でストップ。湧永は順当に1敗をキープした。

三重でのHonda-豊田合成戦もHondaが柳本、横地、中谷らの活躍で前半12分9-3と好ダッシュ。その後もHondaは7mTによる得点で谷口が通算400得点を達成するなど主導権をキープ。後半合成は畠中、椿原らで得点ペースを上げるのが精いっぱいだった。

愛知でのHC名古屋-北国銀行戦は、互角のスタートから、たちまち北国がペースをつかみ、前半13分11-3と一気に試合を決めにかかった。名古屋も佐藤、宮田、菅谷美奈らで懸命に追撃を図ったものの、北国は高得点をマークした上町、横嶋らの活躍で攻撃の手を緩めず、34-18と16点差をつけて圧勝した。

次の第7週は、11月10、11日の両日、大阪、広島、佐賀、沖縄で男子4試合、女子6試合が組まれている。男子では快走する大崎への挑戦権をかけた湧永と大同との激突や、好調・トヨタ紡織九州が大崎に挑む一戦が、女子ではソニーを倒した広島メイプルレッズがオムロンに挑戦するカードなどに注目が集まる。

◆ 11月3日 (土) 男子 埼玉・三郷市総合体育館

大崎電気 40 (23-18) 34 トヨタ車体
6勝0分0敗 (17-16) 3勝0分4敗

<0/2>	K	浦和	木下	K
	5/8	豊田	田中勝	0/0
2/2	4/5	前田	佐々木	0/0
	1/3	中川	高智	3/6
	0/0	佐藤	安藤	0/0
	6/7	永島	野村	4/8
	4/5	岩本	藤田	3/5
	0/0	太田	北出	0/1
<0/3>	K	濱口	長谷川	2/2
	6/15	岩永	鶴谷	4/7
	2/3	東	谷井	K <1/3>
0/1	4/5	猪妻	香川	2/3 5/5
	3/3	望月	崎前	7/11
	3/8	宮崎	門山	4/10

2/3 38/62 13 (FPP) 14 29/53 5/5
審判 (仲田・植村) 観客 720人

◆ 11月3日 (土) 男子 福井・北陸電力福井体育館フレア

湧永製薬 29 (12-3) 9 北陸電力
4勝1分1敗 (17-6) 2勝0分5敗

	K	志水	西田	K	<1/3>
	6/10	下川	高橋	1/4	
	0/1	山中	神田	0/9	
	3/4	福田	落合	2/3	
	0/2	吉田	桜井	1/9	
1/1	1/5	東	前田	1/3	
	K	坪根	高山	0/2	
	6/9	新	杉村	2/5	
	1/1	武藤	北村	0/0	
	1/1	今井	大谷	0/0	
	K	松村	表	1/1	
	1/3	古家	山原	1/5	
	7/8	山口	亀田	0/1	
1/2	1/6	東長濱	有江	K	

2/3 27/50 12 (FPP) 18 9/42 0/0
審判 (青木・根来) 観客 250人

◆ 11月3日 (土) 女子 愛知・三好公園総合体育館アリーナ

北国銀行 34 (19-7) 18 HC名古屋
3勝0分2敗 (15-11) 0勝0分5敗

	K	木澤	近藤	K	<0/5>
	1/1	内平	佐藤	5/10	
6/6	9/11	上町	宮田	4/8	
	2/4	宮前	菅谷奈	3/6 0/1	
	0/2	佐久川	羽出重	0/2	
	0/2	新田	高橋知	3/3	
	1/3	小野澤	本澤	1/5	
	10/11	横嶋	高橋玲	0/0	
	1/4	野路良	家城	K <0/1>	
<1/1>	K	田代	秋山	0/2	
	1/3	仲宗根	水野	2/3	
	1/1	井上	菅谷枝	0/0	
	1/2	若松	徳永	K	
			藤島	0/1	

6/6 28/49 9 (FPP) 11 18/40 0/1
審判 (家永・福島) 観客 333人

◆ 11月3日 (土) 男子 愛知・三好公園総合体育館アリーナ

大同特殊鋼 39 (19-9) 21 トヨタ自動車
5勝0分1敗 (20-12) 0勝0分5敗

	0/1	松林	岩田	2/3
	8/13	末松	高野	0/0
	0/0	浦田	坂口	0/0
	4/4	富田	栗崎	4/4
	4/6	武田	小林	0/0
2/2	6/11	岸川	多和田	0/0 0/1
	2/3	大田	佐藤	K
	K	高木	澤田	0/0
	7/9	李才佑	出會	0/2
<1/1>	K	東	稲本	K <1/3>
	0/0	山本	光増	5/13
0/1	2/3	下村	三上	2/3
	3/5	白元詰	福田	3/12
	1/2	渡久川	山口	5/15

2/3 37/57 11 (FPP) 4 21/52 0/1
審判 (船谷・丸山) 観客 420人

◆ 11月3日 (土) 男子 三重・三重県営鈴鹿スポーツガーデン体育館

Honda 35 (22-7) 24 豊田合成
3勝0分3敗 (13-17) 0勝0分7敗

	4/7	中谷	大立	K	<0/5>
	2/5	鶴見	飛田	0/0	
1/1	4/5	柳本	黒木	0/0	
	2/4	河瀬	桶谷	0/5	
	3/8	竹田	門野	0/0	
	8/11	横地	糸田	3/3	
	2/4	伊藤	大植	0/0 1/1	
	2/3	青谷	渡久山	1/9 1/1	
4/4	0/0	谷口	村	2/4	
<0/2>	K	吉村	椿原	5/11	
	3/3	野嶋	河島	0/0	
	K	吉井	河島	9/29	
	K	四方	佐藤	2/5	

5/5 30/50 7 (FPP) 6 22/66 2/2
審判 (坪井・河合) 観客 440人

◆ 11月3日 (土) 女子 三重・三重県営鈴鹿スポーツガーデン体育館

オムロン 31 (12-8) 15 三重バイトレッズ
5勝0分0敗 (19-7) 1勝1分3敗

<0/3>	K	勝田	横川	2/4
	1/1	水野	桂	0/2
	2/4	安心院	石黒	2/3
	0/0	巻	宮下	1/3
	0/0	西本	菊池	0/0
3/5	3/3	吉田	谷口	0/1
	5/6	佐久川	北村	0/0
	3/5	坂元	伏見	0/0 3/3
	1/2	久野	橋本寛	3/8
	K	藤間	毛利	K <1/5>
	2/2	城内	星野	1/3
	1/1	高田	小川	0/0
	3/10	東濱	伊藤	3/7
2/2	5/7	藤井	森田	K <1/2>

5/7 26/41 8 (FPP) 12 12/31 3/3
審判 (佐路・佐藤) 観客 420人

◆ 11月3日 (土) 女子 鹿児島・霧島市国分体育館

広島メイプルレッズ 32 (21-12) 29 ソニーセミコンダクタ九州
2勝1分2敗 (11-17) 3勝0分2敗

<3/5>	K	高森	中島	K
	3/5	土屋	郭惠静	6/11 0/1
	0/0	樹山	長野	5/8
	0/0	青戸	山田	0/0 0/1
	5/9	大前	田中	1/7 1/2
0/2	7/13	植垣	石崎	0/0
	0/0	坪井	工藤	3/4
	7/11	伊藤	亀山	4/4
	4/5	坂口	高栖	1/3
	K	亟々	出雲	0/0
	0/0	安齋	飛田	K <3/5>
	0/0	石山	寺田	7/7
2/3	4/11	金鎮順	東	0/0 1/1
	K	江頭	川口	0/0

2/5 30/54 13 (FPP) 7 27/44 2/5
審判 (金子・児玉) 観客 655人

男女個人賞レース 第6週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 香川 将之 (トヨタ車体)	47点 (7試合)	1 上町 史織 (北国銀行)	45点 (5試合)
2 末松 誠 (大同特殊鋼)	41点 (6試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	40点 (5試合)
3 下川 真良 (湧永製薬)	40点 (6試合)	3 郭 惠静 (ソニー)	39点 (5試合)
4 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	39点 (6試合)	4 金 鎮順 (メイプルレッズ)	30点 (5試合)
4 神田 友和 (北陸電力)	39点 (7試合)	5 吉田 祥子 (オムロン)	29点 (5試合)
6 岸川 英誉 (大同特殊鋼)	38点 (6試合)	6 横嶋 かおる (北国銀行)	24点 (5試合)
6 門山 哲也 (トヨタ車体)	38点 (7試合)	6 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	24点 (5試合)
8 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	35点 (6試合)	8 大前 典子 (メイプルレッズ)	22点 (5試合)
9 畠中 益喜 (豊田合成)	34点 (7試合)	8 菅谷 美奈 (HC名古屋)	22点 (5試合)
10 渡久山 慶一 (豊田合成)	32点 (7試合)	10 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	21点 (5試合)
11 中村 晃己 (豊田合成)	31点 (7試合)	11 水野 恵子 (オムロン)	20点 (5試合)
12 東 慶一 (湧永製薬)	30点 (6試合)	11 佐久川 ひとみ (オムロン)	20点 (4試合)
13 宮崎 大輔 (大崎電気)	29点 (6試合)	11 橋本 寛子 (バイオレットアイリス)	20点 (5試合)
13 野嶋 智次 (Honda)	29点 (6試合)	11 坂元 智子 (オムロン)	20点 (5試合)
15 猪妻 正活 (大崎電気)	28点 (6試合)	11 田中 美音子 (ソニー)	20点 (5試合)
15 山口 修 (湧永製薬)	28点 (6試合)		

フィールド得点賞

1 下川 真良 (湧永製薬)	40点 (6試合)	1 郭 惠静 (ソニー)	34点 (5試合)
2 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	39点 (6試合)	2 上町 史織 (北国銀行)	28点 (5試合)
2 神田 友和 (北陸電力)	39点 (7試合)	3 金 鎮順 (メイプルレッズ)	27点 (5試合)
4 門山 哲也 (トヨタ車体)	38点 (7試合)	4 横嶋 かおる (北国銀行)	24点 (5試合)
4 末松 誠 (大同特殊鋼)	38点 (6試合)	5 大前 典子 (メイプルレッズ)	22点 (5試合)
6 畠中 益喜 (豊田合成)	34点 (7試合)	5 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	22点 (5試合)
7 岸川 英誉 (大同特殊鋼)	32点 (6試合)	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	21点 (5試合)
8 中村 晃己 (豊田合成)	31点 (7試合)	8 水野 恵子 (オムロン)	20点 (5試合)
8 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	31点 (6試合)	8 坂元 智子 (オムロン)	20点 (5試合)
10 宮崎 大輔 (大崎電気)	29点 (6試合)	10 佐久川 ひとみ (オムロン)	19点 (4試合)
		10 菅谷 美奈 (HC名古屋)	19点 (5試合)
		10 東濱 裕子 (オムロン)	19点 (5試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 中村 晃己 (豊田合成)	31点/ 41射 0.756	1 水野 恵子 (オムロン)	20点/ 25射 0.800
2 下川 真良 (湧永製薬)	40点/ 59射 0.678	2 佐久川 ひとみ (オムロン)	19点/ 25射 0.760
3 岸川 英誉 (大同特殊鋼)	32点/ 49射 0.653	3 大前 典子 (メイプルレッズ)	22点/ 29射 0.759
4 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	39点/ 68射 0.574	4 横嶋 かおる (北国銀行)	24点/ 33射 0.727
5 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	31点/ 55射 0.564	5 坂元 智子 (オムロン)	20点/ 34射 0.588

7mスロー得点賞

1 香川 将之 (トヨタ車体)	21点 (7試合)	1 吉田 祥子 (オムロン)	20点 (5試合)
2 東 慶一 (湧永製薬)	9点 (6試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	18点 (5試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	9点 (7試合)	3 上町 史織 (北国銀行)	17点 (5試合)
4 岸川 英誉 (大同特殊鋼)	6点 (6試合)	4 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	15点 (5試合)
5 内田 雄士 (大崎電気)	5点 (1試合)	5 東 サヤカ (ソニー)	9点 (5試合)
5 谷口 了 (Honda)	5点 (4試合)		
5 豊田 賢治 (大崎電気)	5点 (5試合)		
5 柳本 義文 (Honda)	5点 (4試合)		
5 東長濱 秀作 (湧永製薬)	5点 (5試合)		
5 野嶋 智次 (Honda)	5点 (6試合)		

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 木下 国大 (トヨタ車体)	6本/ 15射 0.400	1 飛田 季実子 (ソニー)	8本/ 16射 0.500
1 西田 豊三 (北陸電力)	4本/ 10射 0.400	2 森田 由美 (バイオレットアイリス)	5本/ 12射 0.417
3 稲本 圭亮 (トヨタ自動車)	5本/ 13射 0.385	3 高森 妙子 (メイプルレッズ)	7本/ 19射 0.368
4 濱口 靖 (大崎電気)	5本/ 15射 0.333	4 木澤 尚子 (北国銀行)	4本/ 12射 0.333
4 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	4本/ 12射 0.333	5 田代 ひろみ (北国銀行)	4本/ 15射 0.267

出場停止

湧永製薬 No.23 東長濱秀作 11月3日・北陸電力戦での失格により2試合の出場停止処分を適用

第32回日本ハンドボールリーグ成績表

第6週終了 11月3日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	Honda	北陸電力	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気		33	39		40	31	36	38		6	6	0	0	12	217	165	52
2	大同特殊鋼	29				41	32	36	46	39	6	5	0	1	10	223	162	61
3	湧永製薬	33	27		29	31		29	38	45	6	4	1	1	9	199	142	57
4	トヨタ紡織九州	39		29		28		9	21	16	6	4	1	1	9	203	162	41
5	トヨタ車体	34	31	28	31			35	34	37	7	3	0	4	6	230	217	13
6	H o n d a	40	41	31	25			36	27	17	6	3	0	3	6	168	164	4
7	北陸電力	23	25		25			28	35	32	6	3	0	3	6	168	164	4
8	豊田合成	31	32		32			21	24	24	7	2	0	5	4	173	226	-53
9	トヨタ自動車	28	27	9	23	36	21		29		7	0	0	7	0	180	259	-79
		36	36	29	35	35	28		27		7	0	0	7	0	180	259	-79
		24	25	21	32	27	24	27			7	0	0	7	0	180	259	-79
		38	46	38	39	34	35	29			7	0	0	7	0	180	259	-79
			21	16	22	17	24				5	0	0	5	0	100	196	-96
		39	45	43	43	37	32				5	0	0	5	0	100	196	-96

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北国銀行	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		25	35	36	31	31	5	5	0	0	10	158	112	46
2	ソニーセミコンダクタ九州	24		22	29	28	46	5	3	0	2	6	149	121	28
3	北国銀行	25	21		32	25	18	5	3	0	2	6	140	124	16
4	広島メイプルレッズ	27	22	26		24	33	5	2	1	2	5	149	131	18
5	三重バイオレットアイリス	35	22	26	24		18	5	1	1	3	3	114	134	-20
6	H C 名古屋	34	32	26		24	33	5	0	0	5	0	83	171	-88
		36	29	27		24	15	5	0	0	5	0	83	171	-88
		15	25	23	24		27	5	1	1	3	3	114	134	-20
		31	28	31	24		20	5	0	0	5	0	83	171	-88
		12	18	18	15	20		5	0	0	5	0	83	171	-88
		31	46	34	33	27		5	0	0	5	0	83	171	-88

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。